

ブラウン管ガラスカレットのリサイクル・処分に係る技術検討会 開催要項

1. 目的

テレビ放送の地上デジタル化を 2011 年に控え、ブラウン管テレビの大量排出が予想されている。ブラウン管ガラスカレットは、水平リサイクルすることが望ましいとされており、現在、メーカールートを中心に有償輸出され、海外で水平リサイクルが行われている。

しかし、今般環境省が行った調査によると、一部の自治体においては、小売業者に引取義務の課せられない廃家電（義務外品）や不法投棄された廃家電の一部が埋め立てられており、また、メーカールートのリサイクルについても、中長期的な動向には不透明な部分がある。

特定家庭用機器のブラウン管ガラスについては、現在の廃棄物処理法では埋立処分を想定していない。このため、特定家庭用機器のブラウン管ガラス（以下単に「ブラウン管ガラス」という。）を取り巻く諸般の事情に鑑みて、ブラウン管ガラスを埋立処分する場合の適切な技術的措置のあり方を主眼とした技術的な検討を行う。

2. 名称

本会は、「ブラウン管ガラスカレットのリサイクル・処分に係る技術検討会」と称する。

3. 検討事項

本検討会は、以下のような事項について検討を行う。

- ・ブラウン管ガラスカレットを取り巻くリサイクル・処分の状況と課題
- ・ブラウン管ガラスカレットのリサイクル・処理技術の評価
- ・国内で埋立処分する場合の適切な技術的措置のあり方

4. 検討の進め方等

- ・検討会の会議、資料、議事録は、原則、公開とする。ただし、本検討会の開催に際し当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害する恐れがある場合等、座長が認める場合は、その全部又は一部を非公開とする。
- ・資料及び議事録の公開については、環境省のホームページへの掲載によることとする。
- ・検討会のメンバーは別紙のとおりとする。
- ・検討を行うに当たっては、事業者等のデータも積極的に活用できるよう、事業者等が実証実験を行う場合には出来る限り連携を取るとともに、必要に応じ検討会で自らがデータの収集を行うなど、適切な役割分担の下、数多くのデータを様々な視点で効率的かつ確実に収集・評価し、検討を進める。

5. 事務局

本検討会の事務局は、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室が行う。

ブラウン管ガラスカレットのリサイクル・処分に係る技術検討会
委員名簿

石井 進 電気硝子工業会 専務理事

上野 潔 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 環境技術ユニット フェロー

大藪 雅晴 社団法人電子情報技術産業協会テレビリサイクル委員会 副委員長

加賀美 忠和 日本鋳業協会 鉛リサイクル検討委員会 委員長

○酒井 伸一 京都大学 環境保全センター 教授

崎田 裕子 ジャーナリスト・環境カウンセラー

佐々木 五郎 社団法人全国都市清掃会議 専務理事

佐藤 宏 財団法人家電製品協会 家電リサイクル委員会 委員

白鳥 寿一 東北大学大学院 環境科学研究科 教授

滝上 英孝 国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター 物質管理研究室長

中村 崇 東北大学 多元物質科学研究所 教授

仁井 正夫 社団法人全国産業廃棄物連合会 専務理事

松藤 康司 福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授

吉永 淳 東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境システム学専攻 准教授

(五十音順、敬称略)

○：座長